

FUJITSU Software

Infrastructure Manager V2.x

Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.x

FAQ集

<改版履歴>

版数	年月	変更内容
01	2018年8月	新規作成
02	2019年6月	ISM2.xで共通のドキュメントに変更。ISM2.4の変更内容に対応

本書では、FUJITSU Infrastructure Manager V2.xおよびFUJITSU Infrastructure Manager for PRIMEFLEX V2.xについてお客様よりご質問をよくいただく内容をまとめています。

以降、Infrastructure Managerを「ISM」、Infrastructure Manager for PRIMEFLEXを「ISM for PRIMEFLEX」と表記します。

No	質問	回答
1	除外トラップリストの使用方法を教えてください。	除外トラップリストにトラップを追加することで同一ノードからの同一トラップ受信を抑制します。 以下の手順で除外リストに加えてください。 1.[イベント]-[イベント]の[SNMPトラップ]タブでトラップ受信を抑制したいトラップを選択してください。 2.[除外リストに追加]を選択してください。 3.除外リストに加える内容に問題がなければ[適用]を選択してください。
2	プロファイルのインポートで必須項目となっているプロファイルグループに何を入れればよいか分かりません。	プロファイルグループは、以下の形式で入力してください。 /ProfileGroup/<ユーザーグループ名>[<プロファイルグループ名>]… もしくは部分一致にて検索してください。
3	無操作状態でセッション有効時間が過ぎても自動でログアウトされません。	[タスク]画面の自動更新が有効になっています。 自動更新時間より長くセッション有効時間を設定している場合、タスクの更新がされる度にセッション有効時間のカウントがリセットされ、ログアウトされません。 [タスク]画面の自動更新を無効にするか、セッション有効時間をタスクの自動更新時間より短い時間に設定してください。
4	各ノードに表示されている、ステータスとアラームステータスの違いは何ですか？	ステータスは、管理対象機器が持つノードステータスをそのまま取得、表示したものです。 ノードは何らかの異常を検知した際に、自身が持つステータスを変化させます。 ISMは定期的にこのステータスを監視して、その状態を取得、表示します。 アラームステータスは、ISMが管理対象機器に関して、ISMイベントを一括して実施することは可能です。
5	複数サーバのファームウェアアップデートを一括して実施することはできますか？	ISM for PRIMEFLEXの場合は、さらにファームウェアローリングアップデート機能を使用し、ISMにノード登録されているサーバを一括してファームウェアアップデートすることができます。詳細はユーザーズマニュアルまたは解説書を参照してください。
6	ISM-VAにウイルス対策ソフトを導入する必要はありますか？	ISMは以下の取り組みによってウイルスに対するセキュリティを担保しています。 ・アプライアンスにすることによって外部からのアクセスを限定 ・インフラ管理VMは、インターネットへの直接接続は非サポート ・インフラ管理VMのセキュリティパッチを適時提供 ISMの仮想マシンは、アプライアンスとして提供しており、利用者の作業域を除いてすべてアクセスできないようにしています。 ISMの仮想マシンはインターネットに直接接続することはサポートしておりません。 これらの取り組みによってウイルスが混入するリスクを排除しています。
7	ISMのアップグレードとは何ですか？	ISMを現時点の版数以上の版数にすることをアップグレードといいます。アップグレードには、バージョンアップとレベルアップの2通りがあります。 ISMの版数は、V.a.b.c (a,b,cは整数)で表されていますが、aの版数を上げることをバージョンアップ、bの版数を上げることをレベルアップ、といいます。 例) ・バージョンアップ :V1.5.0 → V2.2.0 ・レベルアップ :V2.1.0 → V2.3.0 注意)版数をV.a.b.c.d(a,b,cは整数、dは英字小文字)と表すことがあります。こちらは、V.a.b.cの修正パッチ(ソフトウェアの障害を修正するプログラム)です。修正パッチは、SupportDesk-Webの[ダウンロード]メニューから入手することができます。

No	質問	回答
8	ISM2.3 から ISM2.4.0.c へのアップグレード方法を教えてください。	<p>この場合は、レベルアップと修正パッチ適用が必要です。 ISM2.3 ⇒ ISM2.4(レベルアップ) ⇒ ISM2.4.0.c(修正パッチ適用)</p> <p>【アップグレードプログラムを使用する方法】 ①SupportDesk-Webの[ダウンロード]メニューからアップグレードプログラムおよび修正パッチを入手します。 ②操作手順書の手順に従い、アップグレード(レベルアップ)してください。 ③操作手順書の手順に従い、修正パッチを適用してください。</p> <p>【アップグレードDVDを使用する方法】 ①レベルアップのためには、まずSupportDesk-Webの[アップグレード]メニューに従い、アップグレード申込を行う必要があります。申し込み後、アップグレードDVDが送付されるまで2週間程度かかります。 ②アップグレードDVDを入手できたら、操作手順書の手順に従い、アップグレード(レベルアップ)してください。 ③操作手順書の手順に従い、修正パッチを適用してください。修正パッチは、SupportDesk-Webの[ダウンロード]メニューから入手することができます。</p>
9	アップグレードに使用するismadmコマンドで、2種類のオプションの違いを教えてください。 ・patch-add ・upgrade	<p>patch-add : 同一マイナー版数間における修正パッチの適用に使用するオプション upgrade : 異なるマイナー版数間のアップグレード(レベルアップ)に使用するオプション ただし、ISM 2.0.0およびISM for PRIMEFLEX 2.0.0からのアップグレード(レベルアップ)の場合は、patch-addを使用します。</p> <p>オプション使用例: ・V2.1.0 ⇒ V2.4.0 upgrade ・V2.2.0 ⇒ V2.2.0.a patch-add ・V2.0.0 ⇒ V2.2.0 patch-add</p>
10	ESXi のアップデートをしたいのですが、そのバージョンのOSをISMが対応しているのか確認する方法を教えてください。	<p>対応するOSについては、使用している版のISMまたはISM for PRIMEFLEXに対する管理対象機器一覧をご確認ください。 管理対象機器一覧は、SupportDesk-Webの製品情報に各版ごとに掲載しております。</p>